

日本鉄鋼協会記事

理 事 会

第6回理事会 開催日: 12月19日. 出席者: 久松会長, ほか 38 名.

1. 図書出版委員会設立及び委員長委嘱の件

編集委員会では会誌以外の図書出版の強化を図るため昭和41年7月出版分科会を発足させ出版活動を行っている。現在鉄鋼業をとりまく情勢も大きく変わりつつあり、本会運営の健全な将来の発展を期し出版事業を総合的な立場で検討すべく標記委員会の設立を決定した。初代委員長として松下幸雄前会長の委嘱を決定した。

2. 昭和62年度予算案の件

支出の部で各費目最低限5%削減目標と収入の部で維持会員の5%削減を行った結果第1次予算案を作成した。さらに1次案を見直し、次回理事会に2次案を提出することになった。

企 画 委 員 会

第6回企画委員会 開催日: 12月11日. 出席者: 栗田委員長, ほか 22 名

1. 新製錬技術国際会議('88)実施の検討

アメリカ AIME が '88 年春に同種の会議を実施するため、日本での開催は見送ることになった。'90 年のコンGRESでは一つのセッションを持つよう要望が出た。

2. 学生見学会検討委員会報告 (12月3日開催学生見学会の存廃の検討を含めて今後の進め方について意見交換を行った。また、鉄連の広報委員会でリクルートを目的とした見学会の計画が検討されていることが紹介された。1月の企画委員会に中間報告をすることとし、①見学会開催の是非、②鉄連との関係をどう考えるか、③開催する場合の最適時期の選択、見学コースの設定方法等具体的な意見を次回までに用意願うことになった。

編 集 委 員 会

第9回和文会誌分科会 開催日: 12月5日. 出席者: 坂尾主査, ほか 26 名.

1. 19件の論文審査報告がなされ、掲載決定14件、照会后掲載可4件、修正依頼1件であった。

2. 「鉄と鋼」第73年第6号(4月号)に論文10件、技術報告4件掲載決定した。

第9回欧文会誌分科会 開催日: 12月12日, 出席者: 加藤主査, ほか 20 名.

1. 24件の原稿につき審査報告がなされ、掲載可4件、照会后掲載可1件、修正依頼15件、返却4件であった。また、5件の New Technology 原稿につき審査報告がなされ、掲載可2件、修正依頼3件であった。

共 同 研 究 会

鋼板部会 第63回分塊分科会 開催日: 12月4,5日

開催地: 鋼管・京浜. 出席者: 歌橋部会長, 岸田主査, ほか 96 名.

1. 議題審議

(1) 議題Ⅰ・操業調査表

(2) 議題Ⅱ・共通議題報告

条部門: 「分塊歩留向上対策」16 件

板部門: 「スラブの品質保証体制」11 件

(3) 議題Ⅲ・自由議題報告

条部門: 10件

板部門: 7 件

2. 特別講演

「丸ビレットと精整について」

日本鋼管(株)京浜製鉄所製鋼部長・半明正之氏

3. 工場見学

第62回厚板分科会 開催日: 11月20,21日. 開催地: 川鉄・千葉. 出席者: 歌橋部会長, 広瀬主査, ほか 103 名.

1. 工場操業状況報告, 新規稼働設備紹介(7事業所)

2. グループ別討議

(1) スタッフグループテーマ「要員合理化」(製鉄所内・本社内の組織, 直接・間接部門要員, 要員合理化の例, 14事業所)

(2) 作業長グループテーマ「要員合理化推進上の作業長の役割と問題点」(14事業所)

3. 工場見学

第94回計測制御部会 開催日: 11月20, 21日. 開催地: 住金・鹿島. 出席者: 高田部会長, ほか 129 名.

研究報告(合計 26 件)の発表及び質疑応答, その後、工場見学を実施した。

1. 研究報告

(1) 製鉄関係の計測・制御 (4 件)

(2) 圧延関係の計測・制御 (11件)

(3) 製品・半製品の検査 (1 件)

(4) 計測制御に関する新技術・改善技術の紹介 (7 件)

(5) その他 (3 件)

2. 工場見学

No. 3CC, 燃延工場

第55回品質管理部会 開催日: 12月5, 6日. 開催地: 新日鉄・八幡. 出席者: 野寄部会長, ほか 87 名.

1. 議 事

(1) 共通議題「品質管理業務の効率化」, サブテーマ「品質保証および品質管理部門の生産性向上方策」について, 15件の報告があつた。

(2) アンケート「品質保証及び品質管理業務に係わる要員配置の実態」についてのアンケート結果の報告があつた。

(3) 品質管理部会機械試験小委員会

川井委員長がその活動状況を報告した。

2. 工場見学

新日本製鉄(株)八幡製鉄所第三製鋼工場. 熱延工場.

第 35 回設備技術部会

鉄鋼設備分科会 開催日: 12月11, 12日. 開催地: 川鉄・千葉. 出席者: 宮脇部会長, 斎藤主査, ほか 129 名.

1. 議 事
共通議題(I), (II) 及び自由議題 3 件の報告が行われた.
- 共通議題テーマ名;
(1) 焼結主要設備摩耗対策……ワーキンググループ活動報告
(2) 環境集塵設備の保全…… 8 件
2. 見 学
川崎製鉄 (株) 水島製鉄所 第 4 焼結, 第 4 高炉.

鉄鋼技術情報センター運営委員会

第 25 回センター運営委員会 開催日: 12月4日. 出席者: 雀部 実委員長, ほか 12 名.

1. センター関係各種委員会報告.
2. センター業務報告.
3. 昭和61年3月～10月収支実績報告.
4. 昭和62年度センター予算について.
5. 情報管理共同研究会の運営について.

鉄鋼技術情報センター情報検索委員会

第 7 回 BDB 共同実験 WG 開催日: 12月15日. 開催地: 新日鉄・新山谷寮, 出席者: 田村委員, ほか 14 名.

1. Part I のまとめの資料の細部・日程等の検討
2. Part II の検索事例の発表・討論

第 32 回 材料強度と破壊国内総合シンポジウム

——エンジニアリングセラミックスの力学挙動——

1. 共 催 日本材料強度学会, 日本鉄鋼協会他
2. 日 時 昭和 62 年 4 月 4 日 (土) 9: 15～17: 10
3. 場 所 東京工業大学, 中棟 3 号館 527 講義室
東京都目黒区大岡山 電話 (03) 726-1111
4. 参加費 無料
5. テキスト シンポジウム論文集(Proceedings of 32th National Symposium on Fracture);
1 部 5,000 円 (送料別: 1 部 500 円)
6. 申込締切 昭和 62 年 3 月 9 日 (月)
7. 問合せ・申込先 〒980 仙台市上杉 1 丁目 17-18
銅谷ビル 802 日本材料強度学会
内 強度シンポジウム委員会宛
電話 022-265-7843
8. プログラム プログラム御希望の方は, 60 円切手を貼付した返信用封筒を同封のうえ,
下記宛お申込み下さい.
東京都千代田区大手町 1 丁目 9 番 4 号
経団連会館 3 階
社団法人 日本鉄鋼協会
技術部 米田宛
電話 東京 (279) 6021 (代表)

3. JICST 新シソーラスの説明

第 33 回図書資料委員会 開催日: 11月28日. 出席者: 岩崎委員長, ほか 16 名.

1. 前回議事録の確認
2. 来年度以降の予算事業方針について
3. 各種事業の経過報告等
(1) 鉄共研資料のマイクロ化, 及び利用システム
(2) 「鉄と鋼」のマイクロ化
(3) BISITS Translation
(4) 諸頒布価格の変更について
(5) 図書資料担当女性社員研修金 (W. L. S)
(6) 学振資料のマイクロ化, 及び利用システム
(7) Proceedings の選択と入手状況
4. 境界領域の図書・雑誌
5. デポジットライブラリー
6. その他

情報管理共同研究会

第 4 回著作権研究分科会 開催日: 12月2日. 出席者: 福井義典主査, ほか 7 名.

1. 著作権に関する問題点のまとめと解決法.

第 6 回光ディスク利用研究分科会 開催日: 11月27日. 出席者: 野田益弘主査, ほか 7 名.

1. アンケート回答集計結果の整理とメーカーヒヤリング項目検討.
2. メーカーヒヤリング.
3. まとめ方

日本電子顕微鏡学会講演会

半導体デバイス材料と電子顕微鏡

——断面観察を中心として——

1. 主 催 日本電子顕微鏡学会
2. 協 賛 日本鉄鋼協会
3. 日 時 昭和 62 年 3 月 14 日 (土) 9: 30～17: 00
4. 場 所 工学院大学講堂 (東京, 新宿駅西口 4 分)
tel 03-342-1211 (代表)
5. 会 費 (当日受付, 講演予稿集合む)
学会員 ¥2,000 前日 (13日) の医生物学講演会に共通 会員外 ¥3,000
6. 問合せ先 社団法人 日本電子顕微鏡学会関東支部
支部長 安達公一
東京大学工学部総合試験所
〒113 東京都文京区弥生 2-11-16
電話 03-812-2111 内 7672